

# ライデン大学所蔵の大和国絵図について

小田匡保\*

## On the Pictorial Map of Yamato Province from the Collection of Leiden University Library

ODA Masayasu

本稿は、オランダのライデン大学図書館に所蔵されるシーボルト収集大和国絵図（以下、ライデン本）について、筆者管見のこれまでの大和国絵図と比較しながら考察を行なったものである。比較の対象は、国立公文書館内閣文庫所蔵の松平本、名古屋市蓬左文庫所蔵の蓬左本、奈良女子大学附属図書館所蔵の奈良女本である。領主目録、郡高目録、図中の領主名などについて検討したところ、ライデン本は松平本と同じく当初の正保国絵図の系統を引くことが判明した。さらに、ライデン本と松平本を子細に比較した結果、ライデン本は、縮写本ではあるが、松平本よりも、より当初の正保国絵図に近い写本ではないかと推察された。

キーワード：大和国絵図、ライデン大学図書館、シーボルト、正保国絵図  
Keywords: pictorial map of Yamato Province, Leiden University Library, Siebold,  
provincial map in the Shoho period

### I. はじめに

オランダのライデン大学図書館には、シーボルトの収集した幕府撰国絵図の写しが20点ほど所蔵されている。これらの国絵図については、2007年より小野寺を研究代表者とする科研の研究が始まっており、その中に、筆者が関心を寄せてきた大和国絵図も含まれていることから、筆者も研究グループの末席を汚している。研究成果の一部は既に口頭発表されているが<sup>1)</sup>、本稿では筆者担当分の大和国絵図（以下、ライデン本）について、筆者管見のこれまでの大和国絵図と比較しながら考察を行ないたい<sup>2)</sup>。

### II. ライデン本と松平本・蓬左本・奈良女本との比較

筆者は、前稿<sup>3)</sup>において、大和国絵図の松平本（国立公文書館内閣文庫所蔵）・蓬左本（名古屋市蓬左文庫所蔵）・奈良女本（奈良女子大学附属図書館所蔵）などについて、領主名・石高等から絵図の作成年代を検討した。その結果、松平本は当初の正保国絵図の系統を引くもの、蓬左本は当初の図を寛文年間に修正した再提出図系統のものであると推定した。また奈良女本は、正保国絵図と関連するものの、奈良奉行所で使われていた国絵図の写しと考えた。ライデン本の写真を瞥見すると、余白に領主名

---

\*駒澤大学文学部地理学教室

の目録が添えられ、論所の記載も多数あり、正保国絵図系統の特徴を示している。そこで、以下においては、ライデン本を松平本・蓬左本・奈良女本と比較し、どの本に近いのかをまず検討したい。

最初に領主目録について見てみたい。ライデン本に記載されているのは領主名のみで領地の石高はなく、松平本と同じスタイルである。領主名は松平本・蓬左本・奈良女本の間でかなり異なっているが、ライデン本はほとんど松平本と同じで、同一の氏名が同じ順序で記されている。明らかに違っているのは、松平本「鈴木権佐」とライデン本「鈴木権之佐」、松平本「下條長兵衛」とライデン本「下庄長兵衛」（これは、本来「下條」であり、ライデン本の誤写であろう）、松平本「今春太夫」とライデン本「今春大夫」の3箇所のみである。

次に郡高目録についても、「宇多郡」（後の宇陀郡）が最後に来る郡名の配列順序は、松平本と合致している（表1）。郡高も、松平本・蓬左本と基本的に一致しているが、ただ1箇所、合計のみはライデン本の誤写と思われる、45万9380石6斗2升4合6勺となるべきところが45万9280石6斗2升4合6勺と記されている。なお、蓬左本・奈良女本では、図中の郡名の脇にも石高が書かれているが、ライデン本にその記載がないのは松平本と同じである。

図中の領主名については、表2のとおりである（前稿では、蓬左本に未確認部分があったが、その後の調査により補った）。ライデン本は写真による調査のみで、文字の判読できない箇所があるが、ライデン本が奈良女本と大きく異なることは明らかである。蓬左本とは類似が見られるが、ライデン本で「片桐半丞」、松平本で「片桐半之丞」とあるのが、蓬左本では「片桐又七郎」と記載されていること、また「柳生十兵衛」はライデン本・松平本で共通するのに、蓬左本では「柳生飛驒守」と記されていることにより、やはり松平本に最も近いと言える。

表3では、表記に変遷の見られる郡名を比較している。ここでも、ライデン本と松平本の一致が確認できる。

表1 大和国絵図諸本における郡高の記載と配列順序

郡名	奈良女本 図中	順序	松平本 郡高目録	蓬左本 図中	順序	蓬左本 郡高目録	順序	奈良女本 郡高目録	順序	ライデン本 郡高目録
添上郡	5562682900	1	5595424100	5595424100	1	5595424100	1	5905895100	1	5595424100
添下郡	3526577600	2	*4494140600	3494140600	2	3494140600	2	4028161600	2	3494140600
平群郡	2896771000	3	2917084700	2917084700	3	2917084700	3	2917757100	3	2917084700
山辺郡	4664728800	4	4746844300	4746844300	4	4746844300	4	4889170950	4	4746844300
宇陀郡	3122092600	15	3123504700	3123504700	5	3123504700	14	3123483300	15	3123504700
式上郡	2005230600	6	2639326700	2639326700	6	2639326700	5	2441021100	6	2639326700
式下郡	2242599000	5	2242595500	2242595500	7	2242595500	6	2721740050	5	2242595500
十市郡	3477601600	7	3469097960	3469097960	8	3469097960	11	3726000600	7	3469097960
広瀬郡	1594088000	8	1593776800	1593776800	9	1593776800	12	1857963900	8	1593776800
葛下郡	3635783100	9	3754663800	3754663800	10	3754663800	7	4288523300	9	3754663800
高市郡	4080173900	10	4078668400	4078668400	11	4078668400	10	4220678400	10	4078668400
忍海郡	556534900	11	556534200	556534200	12	556534200	8	556536200	11	556534200
葛上郡	2095908400	12	2805314000	2805314000	13	2805314000	9	2807250600	12	2805314000
宇智郡	1624464300	13	1624171900	*1024171900	14	*1624172900	13	1848116000	13	1624171900
吉野郡	3310942400	14	3296914800	3296914800	15	3296914800	15	3595855000	14	3296914800
都合	記載なし		45938062460	記載なし		45938062460		記載なし		*45928062460
実際の 合計	44396179100		46938062460	45338062460		45938063460		48988153200		45938062460

\* 誤写と思われる数値。  
 ・単位は才（1合の100分の1）である。  
 ・小田（2001）をもとに、ライデン本のデータを追加した。

表2 大和国絵図諸本の図中に記載された領主とその在任期間

松平本			蓬左本			奈良女本			ライデン本
領主名	身分・人物名	在任期間	領主名	身分・人物名	在任期間	領主名	身分・人物名	在任期間	領主名
記載なし			記載なし			植村右衛門作(佐力)	高取藩主・植村家貞	慶安3襲封～元禄3没(1650-90)	記載なし
織田出雲	松山藩主・織田高長(出雲守)	寛永7襲封～万治2致仕(1630-59)	織田山城守	松山藩主・織田長頼	万治2襲封～元禄2没(1659-89)	織田山城守	松山藩主・織田長頼	万治2襲封～元禄2没(1659-89)	織田□□
桑山	新庄藩主・桑山氏	～天和2除封(-1682)	桑山修理亮	新庄藩主・桑山一玄	寛永13襲封～延宝5致仕(1636-77)	未確認			桑山修理
片桐半之丞	片桐為元	寛永15跡継～承応3没(1638-54)	片桐又七郎	片桐且昭	寛永2給知～元禄元没(1662-88)	片桐亦七	片桐且昭(又七郎)	寛永2給知～元禄元没(1662-88)	片桐半丞
織田源十郎	柳本藩主・織田秀一	寛永20襲封～貞享4没(1643-87)	織田源十郎	柳本藩主・織田秀一	寛永20襲封～貞享4没(1643-87)	織田修理	柳本藩主・織田長種(修理亮)	寛永15襲封～寛永20没(1638-43)	織田源十郎
織田左衛門	戒重藩主・織田長政(左衛門佐)	寛永3改名～万治2致仕(1626-59)	織田左衛門佐	戒重藩主・織田長政(左衛門佐)	寛永3改名～万治2致仕(1626-59)	織田豊前	戒重藩主・織田長定(豊前守)	万治2襲封・万治3叙任～寛文12没(1660-72)	織田左口門佐
神保左京	神保茂明	元和元跡継～天和2致仕(1615-82)	神保左京	神保茂明	元和元跡継～天和2致仕(1615-82)	神保左京	神保茂明	元和元跡継～天和2致仕(1615-82)	神保左京
片桐石見守	小泉藩主・片桐貞昌	寛永4襲封～延宝元没(1627-73)	片桐石見守	小泉藩主・片桐貞昌	寛永4襲封～延宝元没(1627-73)	片桐岩(ママ)見	小泉藩主・片桐貞昌	寛永4襲封～延宝元没(1627-73)	片桐石見
柳生十兵衛	柳生藩主・柳生三蔵	正保3襲封～慶安3没(1646-50)	柳生飛騨守	柳生藩主・柳生宗冬	明暦3叙任～延宝3没(1657-75)	柳生但馬	柳生藩主・柳生宗在(対馬守)	延宝3襲封・叙任～元禄2没(1675-89)	柳生十兵衛
平野権平	平野長勝	寛永5跡継～寛文8没(1628-68)	平野権平	平野長勝	寛永5跡継～寛文8没(1628-68)	平野権平	平野長勝	寛永5跡継～寛文8没(1628-68)	平野権平
タガ左近	多賀常長	元和4跡継～明暦3没(1618-1657)	多賀左近	多賀常長	元和4跡継～明暦3没(1618-1657)	多賀亦四郎	多賀常之(又四郎)	延宝2跡継～宝永4没(1674-1707)	多賀左口
奥田三郎右衛門	奥田忠虎	寛永14跡継～寛文7没(1637-67)	奥田三郎右衛門	奥田忠虎	寛永14跡継～寛文7没(1637-67)	未確認			奥田三郎右衛門

・小田(2001)をもとに、ライデン本のデータを追加し、蓬左本の未確認部分を補った。

表3 大和国絵図諸本における郡名の表記(抄出)

松平本図中・郡高目録	蓬左本図中	蓬左本郡高目録	奈良女本図中	奈良女本郡高目録	ライデン本図中・郡高目録
宇多郡	宇多郡	宇多郡	宇陀郡	宇陀郡	宇多郡
式上郡	式上郡	式上郡	城上郡	城上郡	式上郡
式下郡	式下郡	式下郡	城下郡	城下郡	式下郡
十市郡	(記載なし)	拾市郡	十市郡	十市郡	十市郡
宇知郡	宇知郡	宇知郡	宇智郡	宇知郡	宇知郡

・小田(2001)をもとに、ライデン本のデータを追加した。

以上の検討から、ライデン本は松平本と同じ系統の大和国絵図であることが判明する。すなわち、ライデン本も、1640年代末に作成された当初の正保国絵図の系統を引くものであると言える。ただし、表1の郡高において、双方に違うところに誤写が見られることから分かるように、どちらかがどちらかの直接の写本とは言えないであろう。

### Ⅲ. ライデン本と松平本との比較

次に、ライデン本と松平本を、もう少し子細に比較してみたい。まず気がつくのは、村高を、ライデン本では村名の左側に書いているのに対し、松平本では右側に書いていることである。

また、ライデン本には、「イニ□」というような記載がいくつか見られる。気のついたところでは、葛下郡（後の新庄町、現葛城市）の「東堂」「西堂」両村にそれぞれ「イニ室」の注記が付されていること（「東室」「西室」が正しい表記）、同じ葛下郡（後の新庄町、現葛城市）の「中戸」村に「イニ東」の注記があること（平凡社の『日本歴史地名大系』によれば、寛永郷帳には「中東」とあるという）、広瀬郡（現広陵町）の「大垣内」村の右脇に「イニ坂」と記していること、添下郡（現奈良市）の「平松ノ内 南新村」に「イニ行」の注記があることである。これらの注記は松平本には見られず、ライデン本の原本に校勘がされていたのか、ライデン本書写の際に複数の絵図あるいは地誌的な資料を校合したのかのいずれかであろう。注記以外にも、ライデン本には、地名に片仮名でルビを付してあるものがいくつかあるが、松平本にはほとんどない。いつの段階でこのような補記が行なわれたのかは不明だが、書写をした（させた）人間に学問の心得があること、あるいは大和国の地理的知識があることが考えられ、その人物はライデン本の書写者だったかもしれない。いずれにせよ、ライデン本は松平本に比べてきちんとした写本であり、文字の書体や郡界の描写もライデン本のほうがきれいである。

このようなライデン本と松平本の違いの背景として、絵図の大きさが重要である。ライデン本は372×235cmの大きさであるのに対して、松平本は186×118cmであり、松平本の縦横はライデン本のそれぞれ約半分しかない。他方、国立公文書館の天保国絵図や奈良県立図書情報館の元禄国絵図は、縦（南北）が5m以上、横（東西）が3m以上ある<sup>4)</sup>。一般に正保国絵図以降は縮尺六寸一里とされるので、ライデン本は四寸一里程度の縮写図と思われるが、二寸一里程度の松平本よりは明らかに大きく、それだけきちんとした描写が可能なのはである。

### Ⅳ. おわりに

以上の考察から、ライデン本大和国絵図は、縮写本ではあるが、松平本よりも、より当初の正保国絵図に近い写本ではないかと推察される。

もっとも、すべてにおいてライデン本のほうが松平本よりすぐれているわけではない。たとえば、現在の吉野郡十津川村にある玉置神社は、松平本では社殿の建物と「玉置山権現」の名称が書かれており、他の大和国絵図諸本でも同様であるが、ライデン本では書き落とされている。また、蓬左本にある所領の区別は、ライデン本・松平本ともない。このような欠落や誤写は他にもあるだろうが、そのような欠を認めつつも、ライデン本が当初の正保国絵図の姿を伝える貴重な資料であることは、以上の記述で明らかであろう。

〔追記〕 本稿は、2007～2009年度科学研究費補助金基盤研究(B)「ライデン大学所蔵シーボルト国絵図の地図史研究」(研究課題番号：19320130, 研究代表者：小野寺淳)の研究成果の一部である。

## 注

- 1) 小野寺淳ほか「ライデン大学所蔵シーボルト国絵図について(1) 志摩国絵図を中心に」(大会発表要旨), 歴史地理学50-4, 2008, 73頁。
- 2) シーボルトの収集地図については、たとえば次の文献を参照。船越昭生「シーボルトの第一次来日の際に蒐集した地図」(箭内健次・宮崎道生編『シーボルトと日本の開国・近代化』続群書類従完成会, 1997) 71～130頁。大和国絵図は、シーボルト自身が編集した1845年の目録では“61. Jamátono kuni je dsu”, 同目録の日本語ページ(中国人の郭成章が文字を書いたという)では「61 大和国絵図 Ms」(Msは手稿本の意味か)として挙げており、日本語目録を切り抜いたと思われる題簽が、絵図の表紙に貼付されている。1896年のSerrurierによる目録*Bibliothèque japonaise*では大和国絵図は258番に挙げられ、Serrurierの番号が現在もライデン大学図書館で使われている(Ser. 258)。絵図の表紙にも258番のラベルがある。なお、1845年の目録*Catalogus librorum et manuscriptorum japonicorum*については、日本学会・日独文化協会編『フィリップ フランツ フォン シーボルト 蒐集並ニヘーグ王立博物館所蔵日本書籍及手稿目録』郁文堂書店, 1937, 『シーボルト 収集図書目録』科学書院, 1988の複製版, ならびに「シーボルト 蒐集日本図書目録並びにヘーグ王立博物館所蔵日本書籍及び手稿目録」(緒方富雄ほか『シーボルト「日本」の研究と解説』講談社, 1977 所収)の解説を参考にした。
- 3) 小田匡保「大和国絵図諸本の系譜について—大和国絵図に描かれた大峰・再論—」, 歴史地理学43-5, 2001, 1～20頁。
- 4) 国絵図研究会編『国絵図の世界』柏書房, 2005, 369頁の「国絵図所在一覧」を参照。

## On the Pictorial Map of Yamato Province from the Collection of Leiden University Library

ODA Masayasu\*

This paper examines the pictorial map of Yamato Province from the Siebold collection of Leiden University Library. Compared with three other known pictorial map of Yamato Province in terms of the name of the local lords, their arrangement in the list, crop yields by county, and so on described on the maps, it became clear that the map of Leiden was descended from the official map compiled by the Tokugawa Shogunate in the Shoho period (1640s). The survey also found that the map of Leiden was a copy which was more faithful to the lost original than the provincial map in the possession of the National Archives of Japan, although it was painted on a smaller scale.

Keywords: pictorial map of Yamato Province, Leiden University Library, Siebold,  
provincial map in the Shoho period

---

\*Department of Geography, Komazawa University